

Strength(強み)	Weaknesses(弱み)
<ol style="list-style-type: none"> 圧倒的な効率化・自動化 <ul style="list-style-type: none"> 業務プロセスの自動化(RPA、AI)により、生産性を大幅に向上 人的ミスの削減、24時間稼働が可能 スケーラビリティの高さ <ul style="list-style-type: none"> クラウドにより初期投資を抑えつつ急成長に対応可能 地理的制約を受けない事業展開 データ活用による意思決定の高度化 <ul style="list-style-type: none"> ビッグデータ分析、AIによる予測・最適化 経験や勘に頼らない科学的判断が可能 イノベーション創出力 <ul style="list-style-type: none"> 新しいビジネスモデル(サブスク、プラットフォーム等)を生み出す基盤 業界の壁を越えた価値創出が可能 	<ol style="list-style-type: none"> 導入・運用の難易度 <ul style="list-style-type: none"> 専門人材不足(AI、セキュリティ、クラウド) 既存システム(レガシー)との統合が困難 ブラックボックス化 <ul style="list-style-type: none"> AIアルゴリズムの説明責任が果たしにくい 技術が高度化するほど属人化リスクが増大 初期投資・学習コスト <ul style="list-style-type: none"> システム導入、教育、業務改革に時間と費用がかかる 短期的にはROIが見えにくい場合がある 技術依存リスク <ul style="list-style-type: none"> システム障害・クラウド障害時の影響が大きい ベンダーロックインの可能性
Opportunities(機会)	Threats(脅威)
<ol style="list-style-type: none"> DX(デジタルトランスフォーメーション)需要の拡大 <ul style="list-style-type: none"> 全産業でデジタル化が不可避な流れ 中小企業・公共分野にも拡大 AI・IoT・量子・5G/6Gの進展 <ul style="list-style-type: none"> 新技術の社会実装フェーズが本格化 高度な自動化・リアルタイム制御が可能に 人手不足・高齢化への対応 <ul style="list-style-type: none"> 労働力不足を補完する技術としての価値上昇 日本社会との親和性が高い グローバル市場への参入容易化 <ul style="list-style-type: none"> デジタルサービスは国境を越えやすい ニッチ分野でも世界市場を狙える 	<ol style="list-style-type: none"> サイバーセキュリティリスク <ul style="list-style-type: none"> サイバー攻撃、情報漏洩、ランサムウェア 社会インフラ化するほど被害が深刻化 技術進化の速さ <ul style="list-style-type: none"> 技術の陳腐化が早く、継続投資が必要 習得したスキルが短期間で無価値化する可能性 法規制・倫理問題 <ul style="list-style-type: none"> AI倫理、個人情報保護、データ越境問題 規制対応コストの増大 デジタル格差の拡大 <ul style="list-style-type: none"> 技術を使える組織・人材とそうでない層の分断 社会的反発や利用制限の可能性